

# 子供の未来応援国民運動の 今後の展開案について

平成 27 年 8 月 28 日

# 目次

- 1 . 子供の未来応援国民運動の始動について..... 1
- 2 . 子供の未来応援国民運動ホームページについて..... 3
  - ホームページ作成にあたってのコンセプト
  - ホームページの主なコンテンツ
  - トップページのイメージ
  - ポータルサイトの概要及び検索イメージ
  - (参考) 当事者の具体的な悩みからも支援情報を検索
  - マッチングサイトの概要及びマッチングまでのイメージ
  - (参考) 登録情報からNPO等の支援ニーズを検索
- 3 . 民間資金を核とする基金について..... 11
  - 基金のコンセプト及び事業概要
  - 未来応援ネットワーク(仮称)事業
  - 子供の家(仮称)事業
  - 基金の管理運営体制
- 4 . 子供の未来応援国民運動のシンボルマーク等について..... 16

# 1 . 子供の未来応援国民運動の 始動について

# 子供の未来応援国民運動の始動(10月)

## 子供の未来応援国民運動 推進事務局

内閣府、文部科学省、厚生労働省及び日本財団を中心に構成

### 子供の未来応援国民運動 ホームページの開設

#### 支援情報ポータルサイト **情報を届ける**

国、都道府県、市町村等の支援情報が検索できる  
支援情報ポータルサイト

#### マッチングサイト **連携を促す**

企業等による支援と、NPO等の支援ニーズを  
つなぐマッチングサイト

#### 子供の未来応援基金(仮称)のページ **支援を募る**

基金の事業概要等を紹介し、  
寄付をすることができる仕組みを構築

### 子供の未来応援基金(仮称)の創設

#### 未来応援ネットワーク(仮称)事業

草の根で支援を行うNPO等に対して支援を実施

#### 子供の家(仮称)事業

子供たちの居場所となる拠点を整備し、  
「生きる力」を育むプログラムを提供

民間資金による基金事業とともに、  
国も、自治体等への支援を検討

## 国、自治体、民間の企業・団体等による応援ネットワークの形成

官公民の連携・協働により、すべての子供たちが未来に夢と希望を抱き、安心して暮らせる社会へ

## 2 . 子供の未来応援国民運動 ホームページについて

# ホームページ作成にあたってのコンセプト

## 1 . 支援を必要とする方に、必要な支援（情報）を届ける

国、都道府県、市町村等が行う子供の貧困対策(支援情報)を一元的に集約し、地域別、属性等別、支援の種類別に検索できる総合的な支援情報ポータルサイトを整備

当事者自身はパソコン等を有していない可能性もあり、主にその支援者が、当事者から相談を受けながら、必要な支援をコーディネートするための利用を想定

なお、当事者へ配慮し、「進学したいけどお金がない」、「お腹が空いたけど食べ物を買うお金がない」等、当事者が有する具体的な悩みからも支援情報が検索可能

## 2 . 企業等による支援と、NPO等の支援ニーズをつなぐ

草の根で活動する支援団体の多くが、運営基盤がぜい弱であること等に鑑み、民間同士で連携し、助け合えるきっかけをつくるため、双方向で情報を提供、収集できるマッチングサイトを開設

## 3 . 国民に対し、基金への理解と協力を求める

貧困の連鎖を断ち切ることは、社会にとって「将来への投資」につながるという理念等について、国民に対し、理解と協力を求め、提供リソースを基金として結集するための情報発信

# ホームページの主なコンテンツ

## (1) 国、都道府県、市町村等が行う支援情報の「ポータルサイト」

➡ 7 ページ参照

国、都道府県、市町村等が行う子供の貧困対策（支援情報）を一元的に集約  
地域別、属性等別、支援の種類別に検索でき、  
支援情報（施策名、施策概要、担当窓口及び連絡先等）が表示される仕組みを構築

## (2) 企業等による支援とNPO等の支援ニーズとの「マッチングサイト」

➡ 9 ページ参照

CSR活動を行う企業等の支援リソースと、NPO等が抱えているニーズの双方を掲載し、  
相互に検索できるようにすることで、マッチングさせる仕組みを構築

## (3) 子供の未来応援基金（仮称）のページ

➡ 12 ~ 15 ページ参照

基金のコンセプト及び事業概要等を紹介するとともに、寄付をすることが出来る仕組みを構築

## その他、以下のようなコンテンツを用意

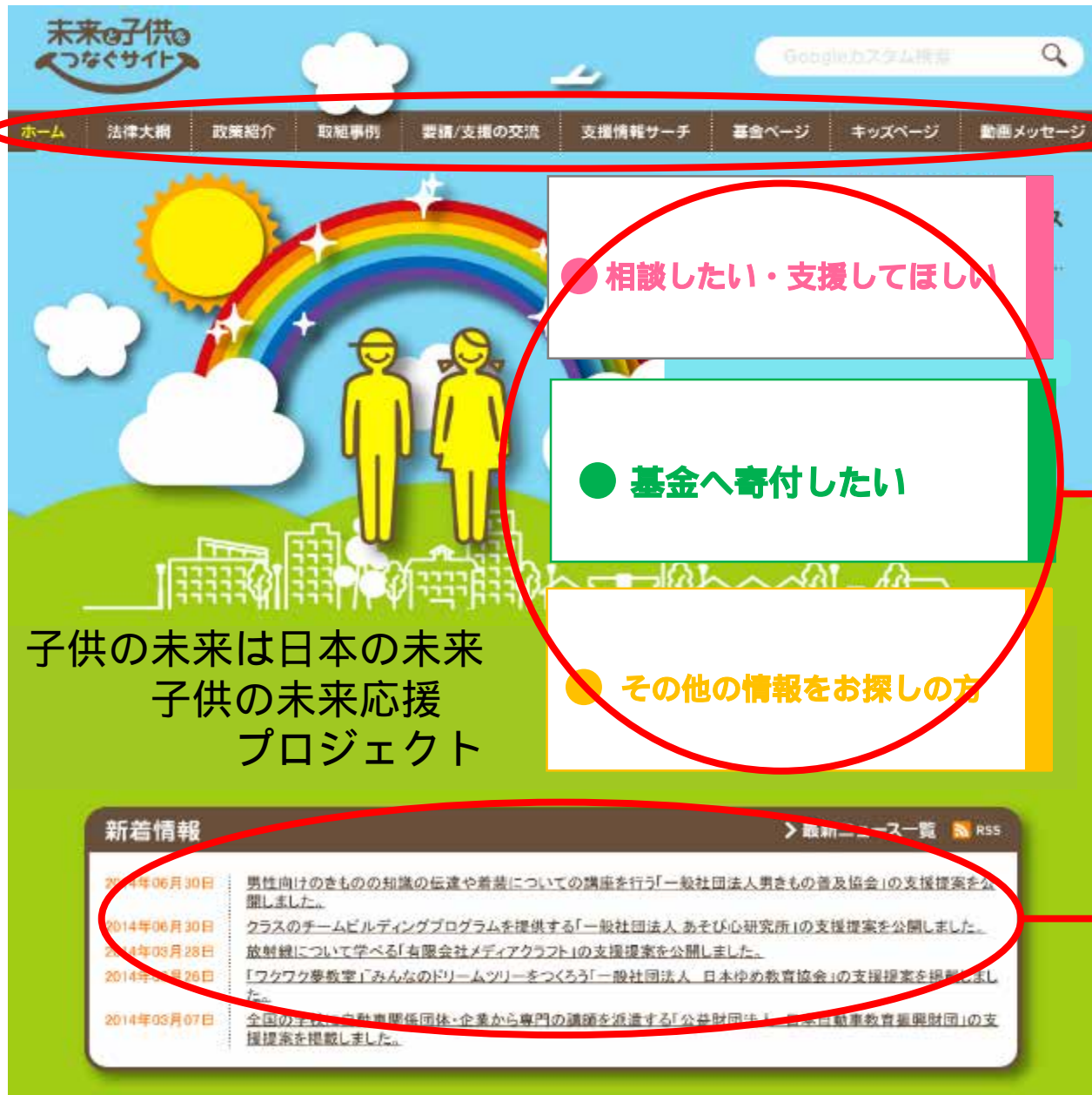
我が国の貧困の状況や主な施策について分かりやすく動画等で紹介するイントロダクションページ

小中学生向けに子供が将来に向けて夢や希望をもてる内容を盛り込んだキッズページ

企業等における優れた取組事例や支援事例等を紹介する先進事例紹介ページ

著名人等による応援メッセージ動画

# トップページのイメージ



タブによるメニュー選択

ポータルサイト、基金ページ等主たるコンテンツを強調。アクセスを簡易化

新着情報、注目すべき情報等は時系列にリスト化



# ポータルサイトの概要及び検索イメージ

## 概要

ひとり親家庭に対する支援施策を含め、国、都道府県、市町村等が行う子供の貧困対策（支援情報）を一元的に集約した上で、地域別、属性等別、支援の種類別に検索できる総合的な支援情報ポータルサイトを整備し、支援者及び当事者へ情報提供を図る。

## 検索のイメージ



住まいを選択  
(都道府県・市町村)



生活保護世帯

ひとり親家庭

児童養護施設等への入所者

児童養護施設等からの退所者

生活困窮世帯等その他

属性等を選択



学習支援

生活支援

就業支援

経済的支援

支援メニューを選択

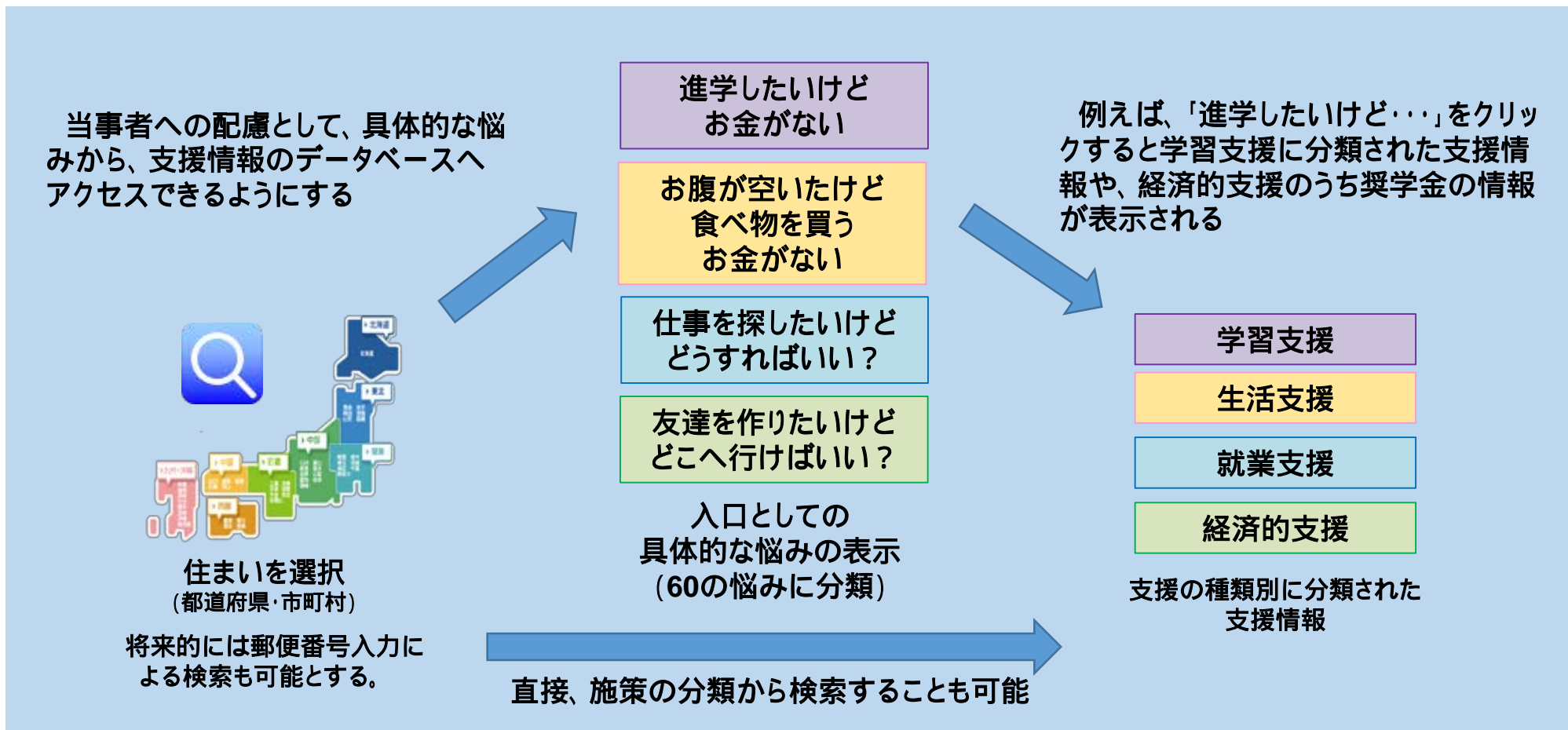
必要があれば更にキーワードを入力し検索

支援情報(施策名、施策概要、担当窓口及び連絡先など)が表示される

国、都道府県、政令市の支援情報は開設時から掲載する。全市町村の支援情報を平成28年度中に掲載、民間団体等の支援情報は順次追加を図り、それぞれ情報量を充実させる。

# (参考) 当事者の具体的な悩みからも支援情報を検索

当事者へ配慮し、「学習支援」や「生活支援」といった支援の種類別からだけではなく、「進学したいけどお金がない」、「お腹が空いたけど食べ物を買うお金がない」等、当事者が有する具体的な悩みからも検索ができるような仕組みを整えることとする。



# マッチングサイトの概要及びマッチングまでのイメージ

## 概要

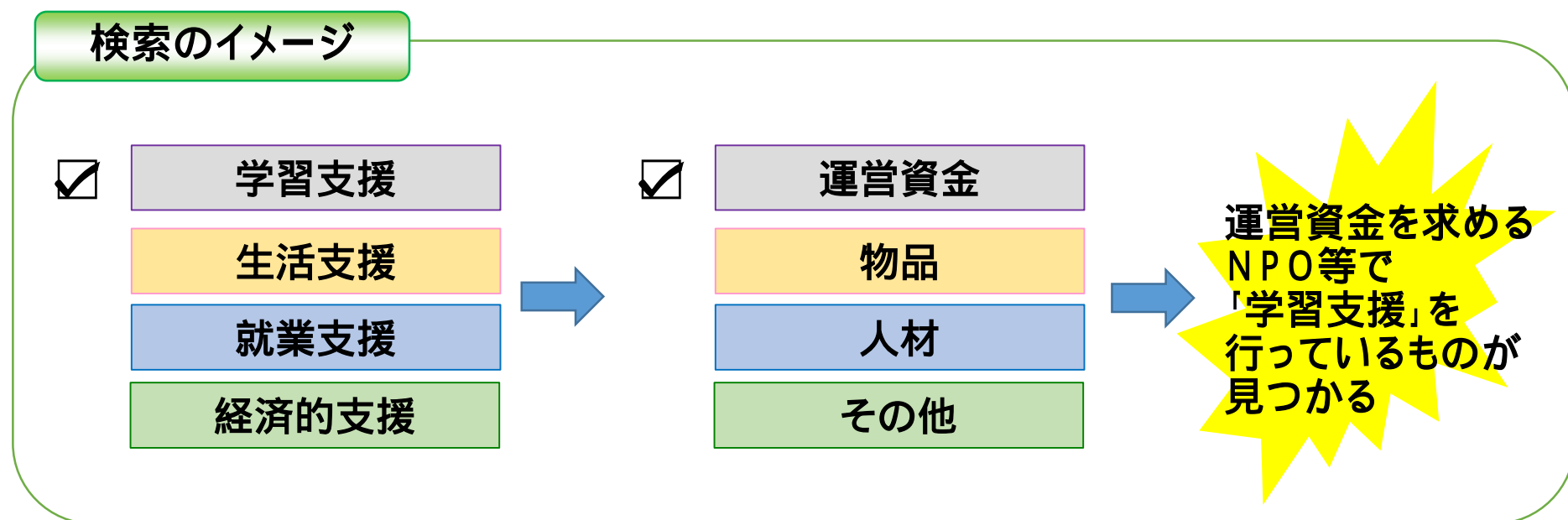
- ・ CSR活動を行う企業等の支援リソースと、NPO等が抱えているニーズの双方を掲載し、相互に検索できるようにすることで、マッチングさせる仕組みを構築する。



# (参考) 登録情報からNPO等の支援ニーズを検索

ポータルサイトの支援情報の分類と同様の分類により、NPO等の支援ニーズを検索できることとする。

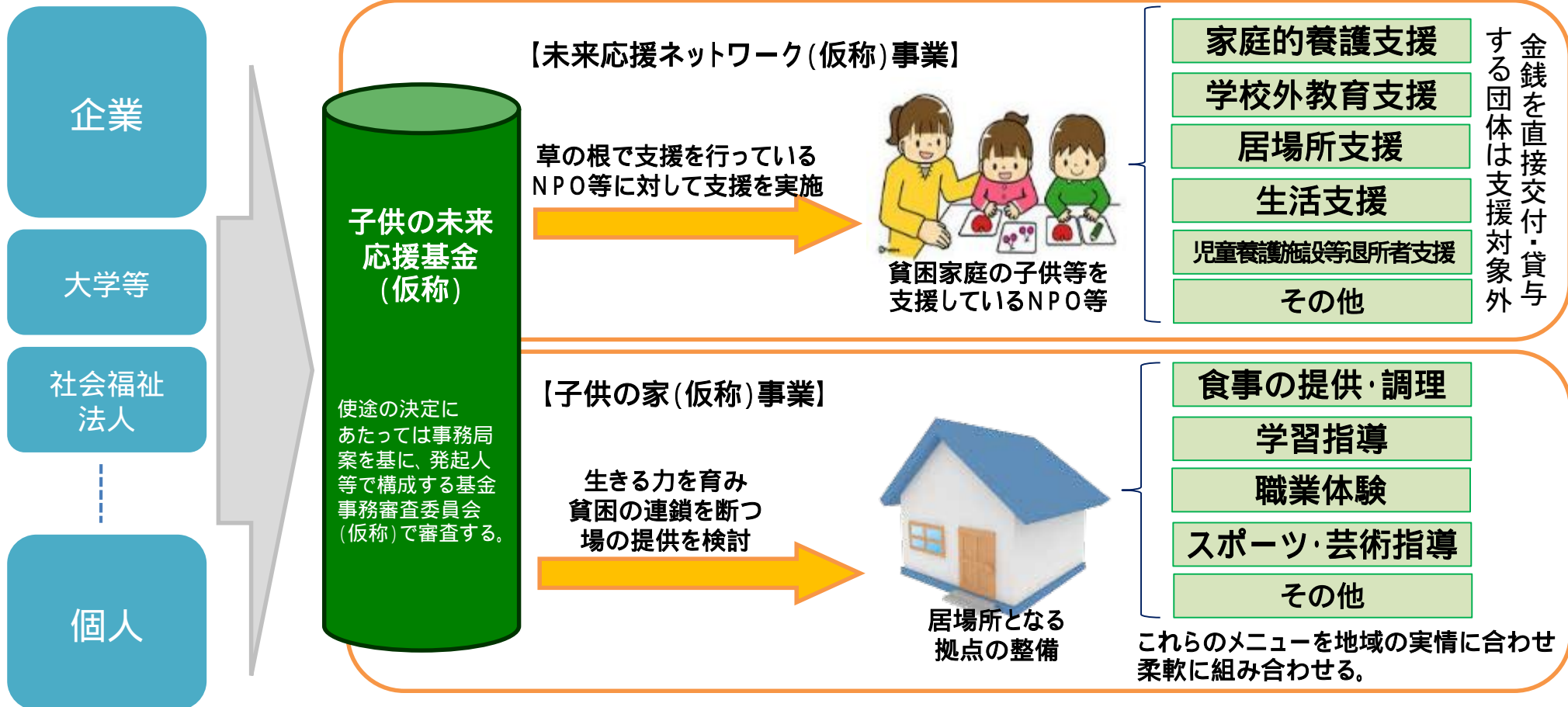
また、NPO等が求める支援内容(例えば、資金、物品、人材等)の別によってもクロスチェックできるようにする。



### 3 . 民間資金を核とする基金について

# 基金のコンセプト及び事業概要

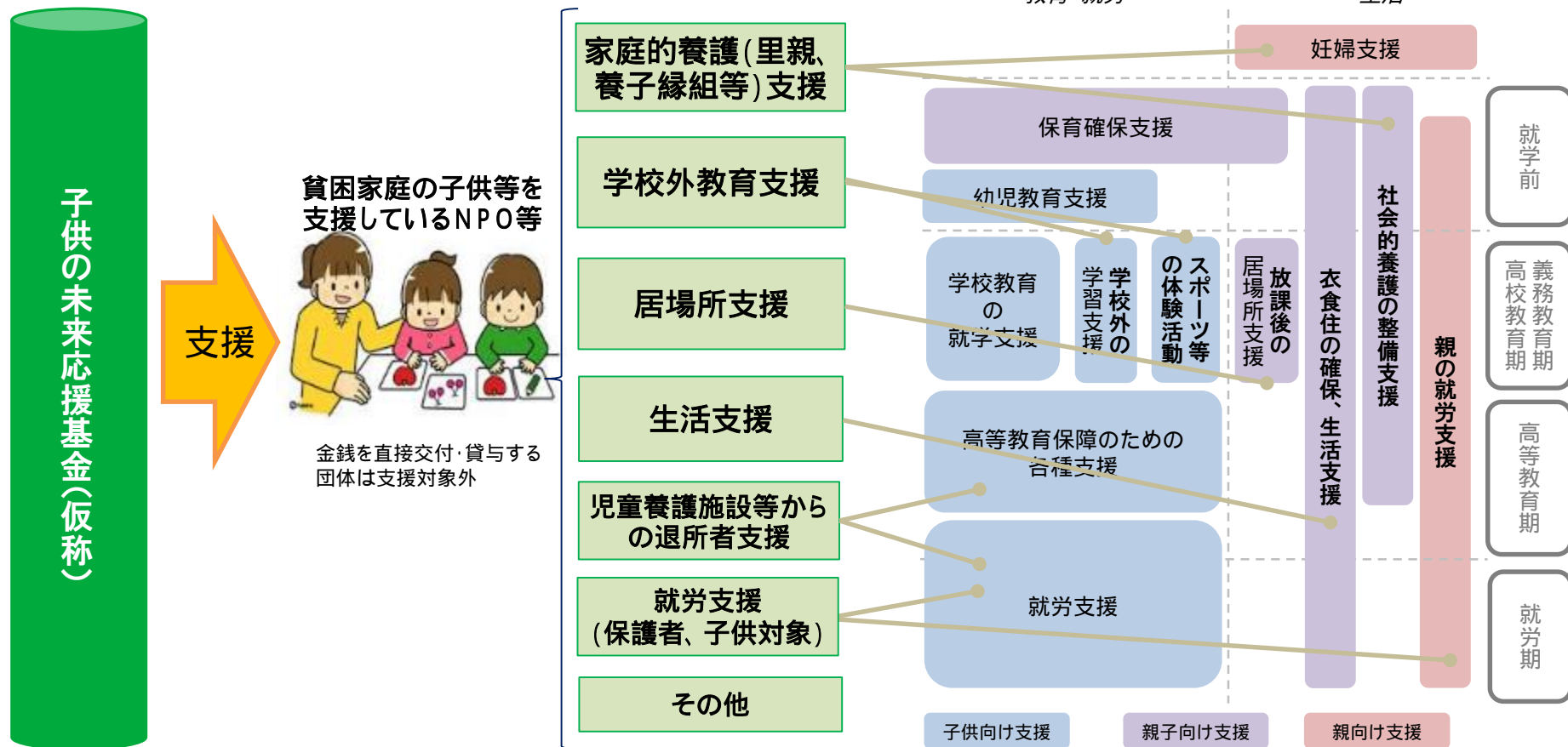
子供の貧困の放置は、子供たちの将来が閉ざされてしまうだけでなく、社会的損失につながるとの考えを前提に、子供の貧困対策を「慈善事業」にとどまらず、「将来への投資」と位置づけ、寄付金をはじめとする企業や個人等からの提供リソースを基金として結集し、「未来応援ネットワーク（仮称）」事業等を実施する。



草の根で支援を行っているNPO等に対して支援を行うに当たっては、民間資金による基金事業とともに、国としても、地方公共団体の取組等への支援を検討

# 未来応援ネットワーク(仮称)事業

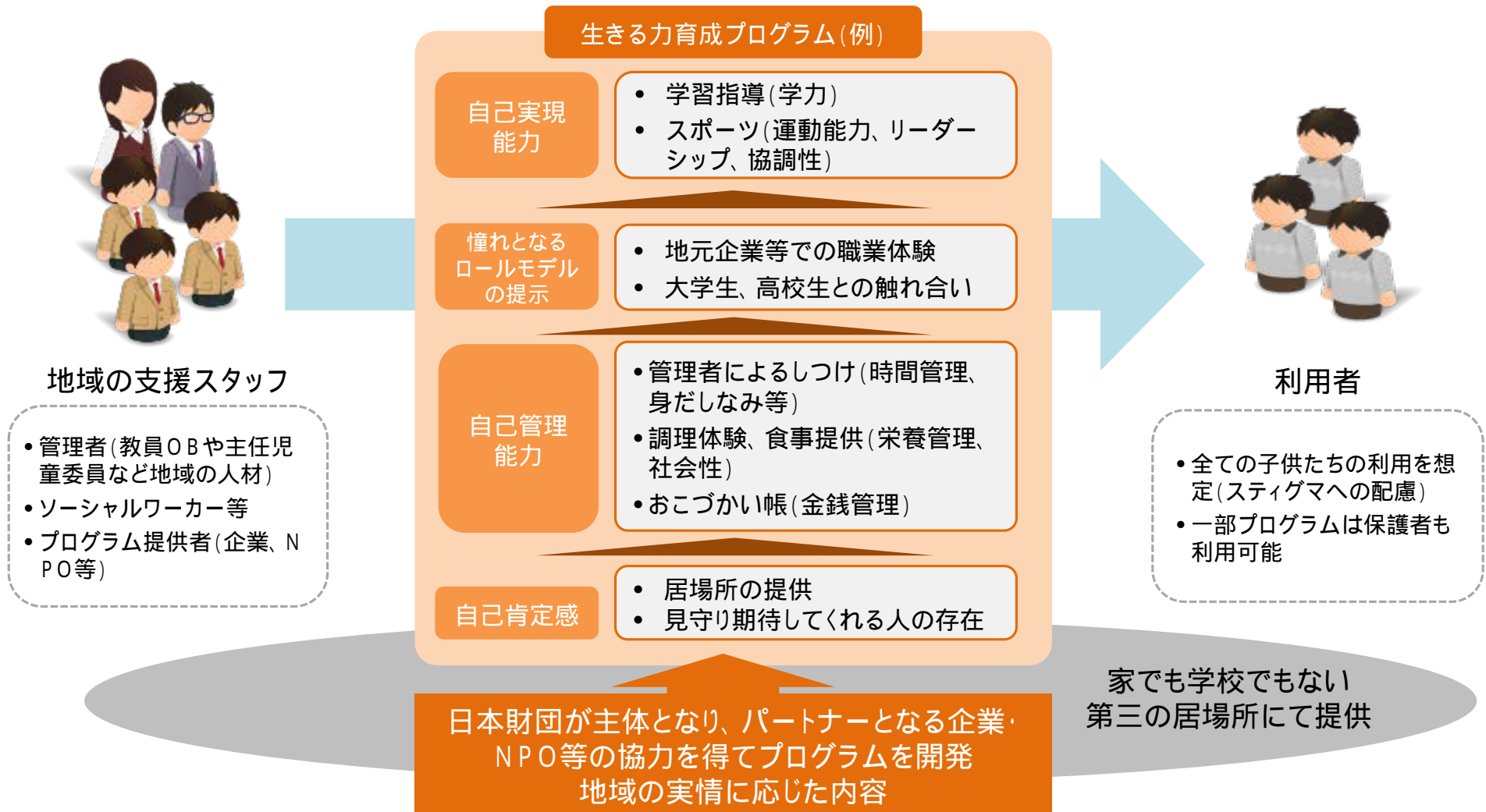
貧困の状況にある子供等に寄り添って草の根で支援を行っているNPO等に対して支援を行い、社会全体で子供の貧困対策を進める環境を整備する。





# 子供の家(仮称)事業

子供の家(仮称)事業では、子供たちの居場所となる拠点を整備し、「生きる力」を育むプログラムを、地域の支援スタッフが子供たちに提供する。





# 基金の管理運営体制

## 概要

寄付金は、日本財団に置く基金として管理。公募方法、選考基準については、国民運動推進事務局で決定。さらに、事務局に「基金事業審査委員会（仮称）」を置き、基金運営の透明性・公平性を確保する。

### 国民運動推進事務局

【構成】内閣府、文科省、厚労省、日本財団  
(業務によって他の主体が加わる可能性あり)

#### 【主な任務】

基金を含む国民運動事業全体の企画立案及び推進  
基金を含む国民運動事業全体の広報の企画及び実施  
支援情報の一元的な集約・提供(ポータルサイトの運営等)  
支援活動とニーズのマッチング事業(マッチングサイトの運営等)  
未来応援ネットワーク(仮称)事業における公募の実施  
未来応援ネットワーク(仮称)事業における支援先及び支援内容の選考基準等の作成

### 基金事業審査委員会(仮称)

主に次の事項を審査する。  
未来応援ネットワーク(仮称)事業による支援先及び支援内容等  
子供の家(仮称)事業における拠点の設置先

### 日本財団

子供の未来応援基金(仮称)

### 未来応援ネットワーク(仮称)事業

NPO等が草の根で実施している子供の貧困対策事業に対し、新規事業立ち上げ・基盤強化を目的として資金提供を実施


### 子供の家(仮称)事業

行政や支援団体単独では実施困難な施策を、民間の資金・ノウハウを活用し、日本財団が主体となって実施

## 4 . 子供の未来応援国民運動の シンボルマーク等について

# 子供の未来応援国民運動のシンボルマーク等

6月2日から7月10日にかけて公募を実施したところ、シンボルマーク142点、愛称273点、キャッチフレーズ282点の応募があり、審査の結果、次の案をシンボルマーク等に採用することとしたい。

	採用案	コンセプト
シンボル マーク		大人が子供に寄り添いながら、優しくその手を握りしめることで、一緒に未来を築いていこうとする姿を表したもの。
キャッチ フレーズ	こどもの未来は日本の未来	貧困の連鎖を解消し、子供たち一人ひとりが未来に向けて夢と希望を描ける社会を実現することが、日本の明るい未来につながるという意味を込めたもの。

シンボルマークについては、デザイン補正を行う予定。